

グループホームしらさぎ地域連携推進会議 議事録

日 時 令和7年12月23日（火）午後1時25分～午後3時

場 所 グループホームしらさぎ 居間

出席者 グループホームしらさぎ利用者、グループホームしらさぎ利用者の家族、
地域民生委員・児童委員、社会福祉法人西春福祉会職員、北名古屋市役所社会福祉課職員 各1名

（事務局）施設長、専門員、サービス管理責任者

議 題

1 あいさつ（施設長）

本日は、お忙しいところ会議に出席いただきありがとうございます。

当グループホームは事業開始から4年が経過したところですが、初めての地域連携推進会議を開催します。グループホームの情報を地域の方々がどれだけ知ってみえるかということを知るきっかけとし、今後に生かしたいと考えていますので、よろしくお願いします。

2 自己紹介

出席者各自、所属など含めて自己紹介をしてもらう。

3 議 題

(1) 地域連携推進会議とは

地域連携推進会議を設置することになった理由を説明。

地域連携推進会議とは、「利用者と地域との関係づくり」「地域の人への施設などや利用者に関する理解の促進」「施設やサービスの透明性・質の確保」「利用者の権利擁護」の目的を達成するため、地域の方を含めて、様々な立場の人と考えていくものです。

会議を開催し、構成員との情報共有や意見交換を行います。また、構成員による施設訪問を行い、職員や利用者との関係づくりや事業所の環境や事業運営の確認など、年に1回以上開催します。

(2) 構成員の役割

構成員の役割として、施設と情報共有や意見交換を行い、施設のことを知ってもらうとともに、施設と地域のつながりづくり、また、施設へ訪問し、利用者と職員とのつながりづくりをお願いしたいと考えています。

(3) 共同生活援助とは

障害者支援施設と共同生活援助について説明。

グループホームしらさぎの運営方針を説明。

利用者 10人（定員10人）

障害支援区分3～6（平均4.5）

営業時間 午後4時から午前9時まで

日中活動先 生活介護事業所セルフしかつ（10人）

職員体制

世話人 2人（午後4時から午前9時まで）

支援員 2人（午後4時から午後9時30分・午前6時30分から午前9時）

日 課 午後4時に帰宅してから、順番にお風呂に入ります。

食事の後、消灯時間までは、洗濯をする時間もありますが、自由に過ごしています。消灯時間以降も自由ですが、翌日に影響しない時間に就寝しています。

4 意見や質問及び回答

委員C…グループホームの職員は、何か資格が必要ですか。また、利用者支援を行う方の障碍の理解はどれほどありますか。

事務局…グループホーム設立当初の支援員は、セルフしかつの支援員が兼務で行っていました。また、サービス管理責任者についても、セルフしかつとグループホームしらすぎを兼務していますので、両施設で一貫した支援を行えますし、障碍への理解も十分理解できているかと思います。

世話人につきましても、グループホームの職員経験者や特養など高齢者の福祉サービス施設を経験している職員も多く、前に勤めていた施設のやり方などを教えてもらうことも多くあります。

委員D…食事の提供ですが、利用者本人に聞きたいのが、美味しく、適切な量を食べているのかということと、食事をどのように提供しているのか教えてください。

委員A…朝も夜も、たまにもう少し食べたいときもあります。

事務局…好きなご飯とかありますか。

委員A…木曜日はからあげとかコロッケとかがでるので好きです。

事務局…食事提供方法は、業者から届いた食材を湯煎するなどして提供し、米や調味料はこちらで購入しています。

どの世話人でも、同じように食事が提供できるような形にしています。

また、世話人の善意で、食材等を持ってくることであったりすることや施設の前の畑で収穫した野菜を調理することもあります。

委員B…セルフしかつでは以前に、給食試食会というものがあり、親が子どもたちはどんなものを食べているのかを知る機会がありました。グループ

ホームでもそういうことがあればいいと思います。

事務局…利用者の方たちは好き嫌いやあまり食事を取らない方などいろいろな個性があります。

メニューは決まっていますが、世話人は、食べられない方に少しでも食べてもらえるように工夫をして提供しています。

しかしながら事業所としては、利用者の皆さんに平等に対応しなければならないとの思いもありますので、1人だけ特別なサービスを提供するということは好ましくないとは思いつつ、世話人が一生懸命にその利用者のためにという気持ちも大切にしたいと考えています。

利用者が喜ぶ食材を購入できるといいのですが、親亡き後のことも考えると、障害者年金と施設で得られる工賃が利用者の収入源となります。その制限の中で喜んでいただける食材を購入し提供していければと考えています。

委員C…クリスマスとか誕生日などイベントはありますか。

委員A…誕生日には、シュークリームとかエクレアがです。

事務局…誕生日の利用者がいると、全員にシュークリームなどを提供し、みんなでお祝いをします。

委員C…同じ食事でも、たまに変化があると楽しいと思います。

委員B…最初は食べないことを心配して、何か持ち込んだりとかを考えましたが、みんなと同じような暮らしをしてほしいとの思いから、何とか食べられる日が増えれば良いなと思っています。

事務局…グループホーム開所時は、体重が減少していく利用者もいましたが、4年が経過し、そういう状況から、標準の体重になってきています。

委員D…うちの事業所でも食事は同じような形で、おやつを管理していますが、個室でこっそり食べていたり、中には、親にも内緒でおやつをもってきて食べていたりします。

体重管理が必要な方で、食事はきちんと管理し、運動もしているのに「なかなか体重が減らないね」と話をしていた方が、実はこっそり食べていたということもありました。

ただ、利用者さんにとっては家なので、あまり管理しすぎるのはどうなのかと、事業所では検討をしているところです。

おやつを管理はどうしているのですか。

事業所…あればあるだけ食べてしまう利用者もいるので、そういった方はこちらで1日1袋ずつ渡すなど管理をしています。自分で管理できる方は、

自室で管理しています。

委員A…自分の部屋の冷蔵庫に保管したヨーグルトや青汁、煎餅などのおやつを食べています。おやつがなくなったら、お父さんに用意してもらっています。

委員D…うちの事業所では、午後4時にホームに戻ってからのレクリエーションをもう少し増やしてはどうかと考えていますが、こちらの事業所ではどうですか。

事務局…誕生日会といっても、そんなに仰々しくはやっていません。食事の時にデザートが付く程度の実施方法です。利用者の皆さんは、みんなで集まって何かするというよりも、自室でゆっくりしたいという方が多いです。

委員D…今は職員も準備して、ビンゴ大会などを実施する計画を立てていますが、利用者の方の中には、自室でゆっくりしたいという方もあり、少し難しいところです。季節行事ぐらいは、何か事業所として提供できることはないのかと考えています。

事務局…利用者の皆さんも、施設から帰ってきてから、いろいろと忙しいのが現状です。お風呂に入る、洗濯をすとかやることが多いと思いますし、寝る前によくほっとできるのが現状だと思います。

行事を入れることで、そうした日課が崩れ、不安定になる方もあるかと思っています。

一般的な家庭では、誕生日やクリスマス、年末年始ぐらいに、少し毎日と違う日があるくらいで、毎日が特別でなく普通に送れることがいいのかなと考えています。施設の入り口に、クリスマスの飾りつけがあったと思いますが、少しでも季節感が感じられるように世話人が工夫してくれています。

日中活動先で行事等を行っていますので、家に帰ってきてまで行事をするということは考えていません。家ではゆっくりくつろぐ場所という方向で考えています。

今後は、自分の部屋だけでなく、居間や洗面所など共有する場所の掃除を自分の意思でできるようになればいいなと思っています。

委員B…グループホームで暮らすようになってできることが増えて、自分から進んで洗濯干しを手伝ってくれるようになりました。ホームで自分でやっていることが身についているのだなと思います。

5 施設見学

個室、洗面所、トイレ、お風呂など施設内を見学

事務局…施設を見てもらいましたが、何かご意見などありますか。

委員D…今、グループホームしらさぎでの課題や困っていることはありますか。

事務局…セルフしかつとの連携をもっと密にできないか検討しています。セルフしかつの職員が兼務していた頃はできていた連携が、体制が変わってからやや弱くなっています。朝の申し送りだけでは情報が不足するため、連絡ノートを設けています。細かいことや微妙なニュアンスなど、会って話をしないと伝わらないこともありますので、どのように対処するかを悩んでいます。

委員E…利用者の日中活動先が、全員同じということはありませんか。また、隣接していることもめずらしいことなのですか。

事務局…特に最近増えてきた株式会社などが経営するグループホームだと、所外の活動場所へ通うということはありませんように感じます。

セルフしかつとグループホームしらさぎのような環境はめずらしいのではないかと思います。

西春福祉会への質問なのですが、ホームの人たちが町内会などに入っていて、町内会の活動などを行っていますか。

委員D…夜間に災害があった時などに、地域の理解が必要だと思ったので、町内会にあいさつをしたのですが、ごみゼロなどの行事には参加できていないのが現状です。ホームのことを地域の方たちに理解してもらうことは非常に難しいなと思います。

委員B…この周りでも散歩している方が、ここは何の施設ですかと聞かれることがあり、近所の方でも知らない方が多くいるなと思います。

セルフしかつには喫茶があるので、たまにお客さんがグループホームを見て帰るので、少しは浸透してきたのかなと感じています。

事務局…ごみゼロ運動などの行事は、土日で開催されることが多く、地域の行事になかなか参加することが難しいのが現状です。

将来的には参加していきたいと考えています。

委員C…災害時に行政から避難勧告などが出た場合は、ホームの人たちは家族に迎えにきてもらうのですか。

事務局…セルフしかつでは、基本的に小中学校と同じように警報が出た場合などは、通所を控えてもらったり、家族に迎えにきてもらっています。

避難所へ避難する場合も、避難所である東小学校へ避難する形になります。

委員B…グループホームで夜間に警報が出た場合は家族が迎えにくるのですか。

事務局…グループホームの利用者の場合、警報が出ている場合は、ホームで解除されるまで待機することになりますし、セルフしかつに通所した後、警報が出れば、速やかにホームに帰ってくるようになります。

また、避難勧告が出ている場合などは、避難所である東小学校へ避難をします。

委員D…備蓄品などは用意していますか。

事務局…グループホームの人たちだけで4日分程準備しています。

6 閉会

施設長…本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

今日いただきました、ご意見などを今後のホーム運営に活かしていきたいと思います。次回につきましても、ご協力よろしく願いします。
本日は、ありがとうございました。

〔閉会：午後3時〕